

特別展

ギリシア考古学の父

天理大学
創立90周年
記念特別展

シュリーマン

初公開！ ティリンス遺跡原画の全貌

2016年 12月17日 | 土 | → 2017年 1月29日 | 日 |

名古屋市博物館

シュリーマン、巨人の城に挑む！

PRESS RELEASE

ハインリヒ・シュリーマン（1822 — 1890）はドイツ人の考古学者で、ギリシア神話の「トロイの木馬」伝説の舞台となったトロイ遺跡を発掘したことで知られています。彼の死後にまとめられた自伝『古代への情熱』によれば、子供のころからギリシア神話の世界に憧れ、努力を重ねて財産を築き、ついにはトロイ発掘の夢を叶えたとされています。そしてこのサクセスストーリーは、子供たちに夢を与える理想的な人生として、多くの偉人伝に取り上げられてきました。

しかし、近年の研究では、実は考古学を志したのは中年になってからであることなど、これまでのイメージとは異なるシュリーマンの人物像が明らかになってきています。



シュリーマン展の見どころ

- I シュリーマンのティリンス遺跡原画を初公開！
- II ナポレオンの『エジプト誌』も登場！
19世紀の調査報告書を一挙紹介！
- III シュリーマンが愛した
古代ギリシア・エジプトの文明を紹介！

本展の目玉は、シュリーマンが最後に刊行した発掘報告書『ティリンス』の図版原画です。世界遺産にも指定されているティリンス遺跡は、トロイと争ったミケーネ文明（紀元前 1700～1200年頃）の重要な都市で、巨人が築いたとされる重厚な城壁が特徴です。

このティリンス遺跡原画をはじめとして、シュリーマンが魅せられたギリシア・エジプトの古代文明や、彼を輩出した19世紀の学問的状况に関する資料を展示し、シュリーマンの業績や、一筋縄で捉えられない彼の人物像を紹介します。さらに、シュリーマンの生涯や学問にまつわるミニゲーム・体験コーナーを用意し、来場者が楽しく学べる空間を提供します。



ティリンス遺跡城壁 巽善信氏撮影

偉大な考古学者の 仕事ぶりを 目撃せよ



『ティルス』図版XXIII・XXIV原画
天理参考館蔵



『ティルス』図版I「要塞ティルスの平面図」原画 天理参考館蔵

I シュリーマンのティルス遺跡原画を初公開！

トロイ、ミケーネと発掘を進め、神話の舞台となった高度な文明の存在を明らかにしたシュリーマン。彼はその晩年に、巨人が築いたという伝承を持つティルス城の発掘に挑戦しています。この発掘には、若く有能な測量技師ヴィルヘルム・デルプフェルト（1853～1940）がシュリーマンの右腕として参加し、驚異的に精巧な遺構図を作成しました。他にも、何人かの画家が発掘現場に招かれ、出土品の精巧な図面を作成しました。そして、これらの遺構や出土品の図面は報告書に掲載され、発掘の成果を広く世に知らしめること

になりました。このように、シュリーマンが手がけた発掘事業では、発掘を記録しその成果を社会に報告するという現代に通じる考古学のあり方が開拓されたのです。

実は、この『ティルス』の図版原画のうち28枚が、天理大学附属天理参考館に所蔵されています。近年の調査で、これら原画にある書き込みがシュリーマンの直筆であることが判明しました。本展ではこの貴重な原画を初公開し、シュリーマンが出土品の考証に取り組んだ様子をご覧ください。

II ナポレオンの『エジプト誌』も登場！ 19世紀の調査報告書を一挙紹介！

シュリーマンの生きた19世紀は西欧列強が世界各地に進出した時代。世界中の文物を略奪する宝探しの調査も行われましたが、印刷技術の進歩もあいまって、次第に学術的な地誌や報告書が盛んに刊行されるようになっていきました。シュリーマンの先進的な発掘報告書も、このような時代の流れから生まれたのです。

本展では、シュリーマンの主要な著作はもちろん、ナポレオンの『エジプト誌』やシーボルトの『日本』など、この時代の重要な調査報告書の初版本を展示します。



(上) ナポレオン皇帝版『エジプト誌』
天理図書館蔵
(下) シーボルト『日本』
天理図書館蔵

地中海の古代文明を往く

III シュリーマンが愛した 古代ギリシア・エジプトの文明を紹介！

シュリーマンは、ギリシアの発掘で大きな成果を取めただけでは飽き足らず、ティリンスの発掘を終えた後にはエジプトでも発掘を試みています。本展では、シュリーマンが魅せられたギリシアやエジプトの古代文明を、天理参考館所蔵の優品から紹介します。



把手付杯 ギリシア
天理参考館蔵



ヌン碗 エジプト
天理参考館蔵



精霊像 エジプト
天理参考館蔵

展覧会情報

名 称 ■天理大学創立 90 周年記念特別展

特別展 ギリシア考古学の父シュリーマン 初公開！ティリンス遺跡原画の全貌

会 期 ■2016年12月17日(土)～2017年1月29日(日)

開館時間 ■9時30分～17時(入場は16時30分まで)

休 館 日 ■毎週月曜日・第4火曜日・年末年始(12/19・26・29～31・1/1～3・10・16・23・24)

12月27日(第4火曜日)は特別開館！1月9日(月祝)も開館！翌10日(火)を休館します。

主 催 ■名古屋市博物館 天理大学 天理大学附属天理参考館 毎日新聞社 日本経済新聞社 テレビ愛知

観 覧 料 ■一般 800 (600) 円 高大生 600 (400) 円 中学生以下無料 () 内は前売・20名以上の団体料金

*前売券は12月16日(金)まで、名古屋市博物館・主要プレイガイド・主なコンビニエンスストア・チケットぴあ(Pコード:767-826)・ローソンチケット(Lコード:45352)などで発売。

*名古屋市交通局の一日乗車券・ドニチエコきっぷを利用してご来館の方は100円引き。

*身体等に障害のある方または難病患者の方は、手帳または受給者証のご提示により本人と介護者2名まで当日料金の半額。

*各種割引は重複してご利用いただくことはできません。ご了承ください。

展覧会に関するお問い合わせ

名古屋市博物館 〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1 TEL 052-853-2655 / FAX 052-853-3636

展示担当 鈴木・武藤 広報担当 藤井・三浦

地下鉄桜通線「桜山」下車、徒歩5分

名古屋市博物館ウェブサイト <http://www.museum.city.nagoya.jp/>

シュリーマンが
よくわかる
関連イベント

■記念講演会■

2016年12月17日(土)

「考古学者シュリーマンとその時代—先駆者の素顔に迫る—」

講師：名古屋大学教授 周藤芳幸氏

2017年1月7日(土)

「シュリーマンのティリンス遺跡原画を探る」

講師：天理大学附属天理参考館学芸員 巽善信氏

会場：講堂(定員220名)

14時から(13時30分開場)

当日12時30分より聴講整理券を先着順に配布します。

1名様1枚限り 聴講無料

要本展観覧券(観覧済み半券可)

■公開講座■

2017年1月14日(土)

「考古学って何するの？」

考古学はどのようにして

過去の社会を明らかにしてきたのか、

また現代の発掘調査はどのように行われているのかを、

考古学を専門とする学芸員が語ります。

講師：当館学芸課長 村木 誠

名古屋市文化財保護室主査 深谷 淳

会場：展示説明室(定員80名)

14時から(13時30分開場) 聴講無料

■冬休み連続ミニ講座■

2017年1月4日(水)～6日(金)

「シュリーマン旅行記」を読む—シュリーマンの見た幕末日本—

シュリーマンは考古学者になる以前に

世界一周の旅をして、

幕末の日本にも立ち寄りました。

その時に書かれた旅行記から、シュリーマンの人物や

当時の日本社会を読み解きます。

講師：当館学芸員 鈴木 雅

1月4日 来航編 / 1月5日 横浜・八王子編 /

1月6日 江戸編

会場：展示説明室(定員80名)

14時から(13時30分開場)

聴講無料

■シュリーマンパーク■

体験・ミニゲームコーナー

1 ふれてみよう本物の土器

名古屋の遺跡から実際に出土した土器片一つ一つを組み合わせて、土器の形に復元することを目指します。

2 シュリーマンの秘宝を追え！

何か国語も話せたシュリーマンにちなんだ外国語パズルや、シュリーマンも頭も悩ませた考古資料の型式クイズを解きながら、展示室内を探索してゴールを目指します。

3 波瀾万丈シュリーマンすごろく

事業や発掘を手がけたり、離婚・再婚を経験したり、世界一周の旅に出たりと、シュリーマンの波瀾万丈な人生をたどる、スリリングなすごろくです。



広報用 作品画像・読者プレゼントチケット 申請書

特別展

ギリシア考古学の父

シュリーマン

天理大学
創立90周年
記念特別展

初公開! ティルス遺跡原画の全貌

2016年 12月17日(土) → 2017年 1月29日(日)

- 広報用画像の使用は、「シュリーマン展」を紹介する場合に限ります。展覧会終了後の使用、または二次利用はお断りします。
- 広報用画像を紹介する場合は、展覧会名・会期・会場・作品名・クレジットを必ず記載してください。
- 広報用画像は全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字のせをする場合は、事前に申請の上、承諾が必要となります。
- 掲載記事につきましては、基本情報確認のため、校正刷り、原稿の段階で広報事務局までお送りください。

貴社についてお知らせください

貴社名 _____ 媒体名 _____

ご担当者名 _____ 所属部署 _____

ご住所 (〒 _____) _____

電話 _____ FAX _____

e-mail _____

ご掲載・放映の予定が決まっておりますらお知らせください。

_____ 年 _____ 月 _____ 日

〔個人情報の取扱いについて〕 ご記入いただきました個人情報は、名古屋市博物館より本展覧会に関する情報発信や連絡などが必要な場合にのみ使用します。許可なく第三者に開示することはありません。

作品画像を 1 点以上掲載して本展をご紹介いただける場合、 希望する
読者向けチケット (5 組 10 名分まで) をご提供します。 希望しない _____ 組 _____ 名分

※原則として掲載紙誌が広報事務局に到着し、確認させていただいた後に発送いたします。

※希望する画像のに✓してください。 ※資料名は以下の名称を使用し、所蔵者・撮影者を併記してください。

<p>1</p>  <p><input type="checkbox"/> ティルス遺跡城壁 (巽善信氏撮影)</p>	<p>2</p>  <p><input type="checkbox"/> 『ティルス』図版原画 (天理参考館蔵)</p>	<p>3</p>  <p><input type="checkbox"/> 牛像 (天理参考館蔵)</p>	<p>4</p>  <p><input type="checkbox"/> 把手付杯 (天理参考館蔵)</p>	<p>5</p>  <p><input type="checkbox"/> 烏文短剣 (天理参考館蔵)</p>
<p>6</p>  <p><input type="checkbox"/> 『ティルス』図版原画 (天理参考館蔵)</p>	<p>7</p>  <p><input type="checkbox"/> 『ティルス』図版原画 (天理参考館蔵) より 「牛の姿をしたヘラ神像」</p>	<p>8</p>  <p><input type="checkbox"/> 『ティルス』図版原画 (天理参考館蔵) より 「2羽の鳥を描いた土器片」</p>	<p>9</p>  <p><input type="checkbox"/> ヌン碗 (天理参考館蔵)</p>	<p>10</p>  <p><input type="checkbox"/> 精霊像 (天理参考館蔵)</p>

お問合せ先 名古屋市博物館学芸課 「シュリーマン展」広報担当 藤井・三浦

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1 tel(052)853-2655 fax(052)853-8400 e-mail:ncm-gaku@juno.ocn.ne.jp